

第 58 回 コンパス薬局藤沢 スキルアップ勉強会

2019. 9. 6

『ゾルトファイ配合注フレックスタッチ』

ノボ・ノルディスク 藤木さん

場所：コンパス薬局藤沢

参加者：沢先生、内科職員さん、相原美穂、味田村俊次、薦田麻莉子、鈴木里菜、清田好美、鈴木亜湖、木村亜希子

【効能・効果】 インスリン療法が適応となる 2 型糖尿病

【用法・用量】 通常、成人では、初期は 1 日 1 回 1 0 ドーズ（インスリンデグルデグ/リラグルチドとして 1 0 単位 0. 36m g）を皮下注射する。投与量は患者の状態に応じて適宜増減するが、1 日 5 0 ドーズ（インスリンデグルデグ/リラグルチドとして 50 単位/1. 8m g）を超えないこと。注射時刻は原則として毎日一定とする。なお、本剤の用量単位である 1 ドーズには、インスリンデグルデグ 1 単位及びリラグルチド 0. 036m g が含まれる。

【禁忌】

- ・ 本剤の成分に対し過敏症のある患者
- ・ 低血糖症状を呈している患者
- ・ 糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡、1 型糖尿病患者
- ・ 重症感染症、手術等の緊張の場合

【副作用】

重大な副作用

- ・ 低血糖
- ・ アナフィラキシーショック
- ・ 膵炎
- ・ 腸閉塞

【特徴】

- ・ トレシーバとビクトーザを固定費率で配合し、2 つの有効成分を 1 日 1 回の皮下

注射で投与することを可能にした。

- ・ Basal インスリン製剤と同様の容量調節方を用いて、ここの患者に合わせた用量調節が可能。

- ・ 経口血糖降下薬による治療で十分な血糖コントロールが得られない2型糖尿病患者において、トレシーバ群と比較して低血糖の発現頻度を高めずに、HbA1cの低下について非劣性が検証され、さらにゾルトファイ群に対する優越性が検証された。

- ・ フレックスタッチを採用。

【考察】

- ・ 1日1回の投与で、タイミングを問わない為、患者さんの使用しやすいタイミングに設定できることは、使用する側にとっては使いやすい点と考えられるが、食事などと紐付けしないことで、逆に忘れがちになってCP低下につながらないように意識して説明したい。

- ・ 新薬扱いとなり販売後1年間は14日までの投与制限があるため、監査時、投薬時に見逃しの無いように注意が必要となる。

- ・ 保存は室温でも冷蔵でもOKだが、使用開始後は冷所で4週間、室温で3週間までと、期限が異なるため、今までの製剤と違って患者さんには説明が必要となる点に注意を忘れないでおきたい。

- ・ 開始投与量の設定は、インスリン新規導入で1-10ドーズ、インスリンからの切り替えで1-16ドーズと異なるため、薬局でも今までの服用歴について確認し正しい用量での使用を行えるよう気をつけていきたい。